

市町村名	11南城市
------	-------

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	奥武区文化振興施設整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり		
担当部課名	企画部	まちづくり推進課	事業実施 年度	令和 2 ~ 令和 4 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	・奥武区における伝統行事・芸能等の文化を保存継承するため、災害時に一時避難所として活用でき、地域文化の活動拠点機能及び資料展示機能を有する文化振興施設を整備する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R3年度	—	—	合計		
	A. 予算現額	4,544	147,997			152,541		
	B. 執行済額	3,786	136,639			140,425		
	うち 交付金充当額	3,029	109,310			112,339		
	執行率(%) (B/A)	83.3%	92.3%			92.1%		
	執行状況の説明	・隣地境界の確認や実施設計(駐車場の位置、動線計画)の一部見直しによる地元自治会との調整に、6か月の不測の日数を要したことから年度内完了が困難となった。 ・最終的な執行率は、92.1%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度以降	—	—
	基本設計の作成		目 標	作成				
			実 績	作成				
	実施設計、土質調査、用地測量、建築工事、備品購入等の実施		目 標		実施			
			実 績		実施			
			目 標					
			実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				R2年度	R3年度	4年度	5年度	〇年度
	基本設計の作成完了		目 標	完了				
			実 績	完了				
	実施設計、土質調査、用地測量、建築工事、備品購入等の完了		目 標		完了			
			実 績		完了			
			目 標					
			実 績					

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況				
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		R5年度	-	-	-	-
	地域の文化関連イベント等の開催	目 標	15回以上				
		実 績	15回				
	施設利用者数	目 標	800人以上				
		実 績	8,832				
	(施設利用者数アンケートによる)奥武区の伝統文等に対する認識の向上が図られた割合	目 標	80%以上				
実 績		82.0%					
状況説明	【R5年度】 ・伝統芸能等の継承の利用者とイベント等の開催については、区内利用者が、年間7,298人多いが、区外1,433人と県外101人は、比較的少なく、目標は達成しているが、今後の課題である。文化振興施設拠点整備の効果で、奥武区の文化芸能等の重要性が区民の中に徐々に認識され始めている。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R5年度】 ・設定目標は達成したが、区外の利用者が比較的少なく、区外対象のイベントを検討する必要がある。			【R5年度】 ・サバニ建造技術講演会など区外利用者が参加しやすいイベントを開催し、魅力発信活動を検討していきたい。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R5年度】 ・来年11月開催予定の観音堂祭に向け、準備活動を通して奥武区の伝統芸能・文化の認識を高める機会とし、案内板の設置やサバニ建造技術講演会等のPRを実施して更なる活性化を図りたい。							

市町村名	11南城市
------	-------

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	佐敷海岸海辺のまちづくり推進事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(5)-イ 沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくり	
担当部課名	土木建築部	都市計画課	事業実施 年度	令和 4	～令和 4	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(1)
事業内容	佐敷海岸にある、人工海浜、マリーナ跡地や静穏な海域を利用した海洋性レクリエーションなど、海辺を活用したまちづくり構想を策定する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R4年度	—	—	—	合計	
	A. 予算現額	8,789				8,789	
	B. 執行済額	8,789				8,789	
	うち 交付金充当額	7,031				7,031	
	執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%	
	執行状況の説明	予定通り予算を執行することができた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	—	—	—	—
	佐敷海岸海辺のまちづくり構想の策定完了		目 標	完了			
			実 績	完了			
			目 標				
			実 績				
			目 標				
			実 績				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			R4年度	—	—	—	—
	佐敷海岸海辺のまちづくり構想策定完了		目 標	策定完了			
			実 績	策定完了			
			目 標				
			実 績				
			目 標				
			実 績				

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R5年度	—	—	—	—
	関係機関(県、市)による新たな活用及び整備に向けた協議:2回		目 標	2回				
			実 績	2回				
			目 標					
			実 績					
	状況説明	【R5年度】 ・県、市の関係課で佐敷海岸等の整備に向けた課題等の調整会議を開催した。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R5年度】 ・県と市の関係課において、佐敷海岸の現状と課題を確認し護岸整備等について、本構想を踏まえながら調整会議を開催した。 ・調整会議を開催した結果、市や市民等の要望について、今回の護岸整備へ反映することが可能となっている。				【R5年度】 ・引き続き、県と連携し地域の人々に親しまれ賑わいが創出される魅力あふれる海辺のまち実現に向けて取り組んでいく。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R5年度】 ・護岸整備等に向けて、県との協議を継続していく。また、佐敷海岸背後地の住環境対策についても取り組んでいく。								

市町村名	11南城市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	第2次南城市観光振興計画検証調査事整備事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第6章-3-(3)-イ 歴史文化の継承・発展及び観光振興	
担当部課名	企画部	観光商工課	事業実施 年度	令和 4年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	第2次南城市観光振興計画の取組の効果を検証するため、中間評価として、本市の観光振興における進捗状況の確認、見直しを行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 予算現額				4,950	4,950	
	B. 執行済額				4,950	4,950	
	うち 交付金充当額				3,960	3,960	
	執行率(％)(B/A)				100.0%	100.0%	
	執行状況の説明	計画通り予算を執行することが出来た。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	第2次南城市観光振興計画の評価検証の実施	目 標	実施				
		実 績	実施				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	第2次南城市観光振興計画の検証・見直しの完了	目 標	完了				
		実 績	完了				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況				
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		R5年度 目標/発現年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	一人当たりの観光消費額:16,000円	目 標	16,000円				
		実 績	19,651円				
		目 標					
		実 績					
状況説明	【R5年度】 本市の観光振興の一環として、本市内宿泊者向けアンケート調査を実施。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R5年度】 本事業にて、観光振興計画の見直しを図り、観光関連事業者とのゆんたく会(情報共有)等を実施し、課題を共通認識する等連携を強化する取組に注力したことやアフターコロナで徐々に経済活動が戻っていることが、目標達成の要因となったと考える。			【R5年度】 アフターコロナで徐々に経済活動が戻ってきている傾向が見られることから、事業効果の更なる向上のため、需要喚起策を講じていく。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R5年度】 今後も、観光事業者との情報共有実施し、旅マエ、旅ナカでの情報発信や、着地型の観光体験コンテンツ造成及び市内交通の利便性の向上などに取り組み、旅行需要を喚起するとともに、観光宿泊税など観光振興に充てる財源確保についても検討していく。							

市町村名	11南城市
------	-------

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	インバウンド受入環境整備事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(6)-ア 沖縄のソフトパワーを活用した 新事業・新産業の創出	
担当部課名	企画部	観光商工課	事業実施 年度	平成 28	～ 令和 2	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	外国人観光客の誘客及び満足度を確保するため、インバウンドに対するニーズ調査を行い、効果的なインバウンド対策の検討や本市のプロモーションを行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		～H29年度	H30年度	R1年度		R2年度	合計
	A. 予算現額	8,136	7,537	7,657		14,322	37,652
	B. 執行済額	8,108	7,516	7,657		14,322	37,603
	うち 交付金充当額	6,485	6,012	6,125		11,458	30,080
	執行率(%) (B/A)	99.7%	99.7%	100.0%		100.0%	99.9%
	執行状況の説明	概ね予定通り予算を執行することができた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	外国人観光客の動向及び市内における受入 実態の調査	目 標					実態調査の 実施
		実 績					実態調査の 実施
	市内の受入体制強化	目 標					体制強化の 実施
		実 績					体制強化の 実施
	旅行商品開発	目 標					商品開発
		実 績					商品開発
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	学生のSNS等による南城市情報拡散記事件 数	目 標		30件			
		実 績		30件			
	斎場御嶽における外国人観光客数	目 標			40,000人 以上	40,000人 以上	30,000人 以上
		実 績			26,367人	21,194人	343人
	南城市が満足できる観光地となっているか (80%以上)を含め、市に訪れた外国人を対 象としたアンケートにより本事業の効果を検証 する	目 標					80%以上
		実 績					アンケート調 査中止

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成／進捗状況					
			R2年度	R3年度	R4年度 目標/発現年度	R5年度	R6年度
事業完了後の成果目標	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果						
	南城市が満足できる観光地となっているか(80%以上)を含め、市に訪れた外国人を対象としたアンケートにより本事業の効果を検証する。	目 標	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	
		実 績	アンケート調査中止	アンケート調査中止	アンケート調査中止	81.0%	
	目 標						
	実 績						
状況説明	【R3年度】 ・コロナ禍の影響により、斎場御嶽を訪れた外国人観光客を対象としたアンケート調査を実施することができなかった。 【R4年度】 ・コロナ禍の影響により、斎場御嶽を訪れた外国人観光客を対象としたアンケート調査を実施することができなかった。 【5年度】 ・斎場御嶽を訪れた外国人観光客を対象としたアンケート調査を実施。						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【R3年度】 ・コロナ禍であるが外国人観光客数はR2年度よりも回復傾向にある。市内観光事業者においてもコロナの感染対策も施しており、外国人観光客数の呼び込みも出来ている。	【R3年度】 ・コロナ禍により香港など近隣諸国で健康に関する分野の需要が上がりつつある。事業を通しての市場調査結果をフィードバックし地域事業者と協力し健康志向の観光コンテンツ作成を図る。
【R4年度】 ・市における外国人観光客数はコロナ禍の状況から、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	【R4年度】 ・アフターコロナに向け本格的に外国人観光客を迎え入れる為の観光コンテンツの作成を図る。
【5年度】 ・本市における外国人観光客数は、コロナ禍前の状況へ戻りつつあるが、いまだ回復途上である。満足度として、世界遺産や豊かな自然に癒されたという声もあり、ポテンシャルの高さを再確認できた。	【5年度】 ・地域民間事業者と連携し、外国人観光客を迎え入れる為の観光コンテンツ造成を図る。

今後の取り組み方針（関連・同種事業へのフィードバック等）

【R3年度】 ・中止となったアンケートは今年度、第2次南城市観光振興計画見直しの際に検証する。 ・海外観光客の旅行需要における、アフターコロナ、ウィズコロナの状況にも対応出来るよう、事業を通じて得た市場調査結果やリモートツアープログラム等を活用し市内外国人観光客数の回復を目指す。 【R4年度】 ・本格的なコロナ明けの後の観光需要に対応するため、市の観光資源を活かしたコンテンツの作成。 ・コロナ禍で滞っていた香港理工大学との交流の再開を目指し、海外マーケティングやインバウンド受入の推進を図る。 【5年度】 ・地域民間事業者と連携をし、観光コンテンツ造成を図るなど、海外マーケティングやインバウンド受入の推進を図る。
--